



安全データシート  
INSULCURE 11B PT B

項目1：化学品及び会社情報

1.1. 製品特定名

製品名 INSULCURE 11B PT B

1.2. 化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 Casting compound

1.3. 安全データシートの供給者の詳細

供給者

ITW Performance Polymers  
Bay 150  
Shannon Industrial Estate  
Co. Clare  
Ireland  
V14 DF82  
353(61)771500  
353(61)471285  
mail@itwpp.com

1.4. 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 +44(0)1235 239 670 (24h)

項目2：危険有害性の要約

2.1. 化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分3 - H311 急性毒性 区分3 - H331 皮膚腐食性 区分1A - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1 - H317

環境有害性 水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411

2.2. ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害。  
H311+H331 皮膚に接触したり、吸入すると有毒。  
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

## INSULCURE 11B PT B

## 注意書き

P260 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。  
 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。  
 P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。

## 含有物

2,2'-DIMETHYL-4,4'-METHYLENEBIS(CYCLOHEXYLAMINE), 2-ETHYL-4-METHYLIMIDAZOLE, 4-Methylimidazole

## 項目3：組成及び成分情報

## 3.2. 混合物

<b>2,2'-DIMETHYL-4,4'-METHYLENEBIS(CYCLOHEXYLAMINE)</b> CAS番号: 6864-37-5	<b>60-100%</b>
<b>分類</b> 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分3 - H311 急性毒性 区分3 - H331 皮膚腐食性 区分1A - H314 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 水生環境有害性、慢性毒性 区分2 - H411	
<b>2-エチル-4-メチルイミダゾール</b> CAS番号: 931-36-2	<b>1-5%</b>
<b>分類</b> 急性毒性 区分4 - H302 皮膚刺激性 区分2 - H315 眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318 皮膚感作性 区分1B - H317	
<b>4-Methylimidazole</b> CAS番号: 822-36-6	<b>&lt;1%</b>
<b>分類</b> 急性毒性 区分4 - H302 急性毒性 区分3 - H311 皮膚腐食性 区分1B - H314 発がん性 区分2 - H351	

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

## 項目4：応急措置

## 4.1. 応急措置の説明

## 一般情報

即時の応急処置が必須である。汚染された衣類を取り除くこと。応急処置を行う者は救助活動中は常に適切な保護具を着用しなければならない。

## 吸入

被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が困難な場合には、酸素が必要な場合もある。

## INSULCURE 11B PT B

経口摂取	直ちに医師の手当てを受けること。口を水で十分にすすぐこと。無理に吐かせないこと。嘔吐した場合には、嘔吐物が肺に侵入しないよう頭を低くしておかなければならない。
皮膚接触	直ちに皮膚から物質を取り除くことが重要である。汚染された衣類を取り除き、皮膚を水で十分に洗うこと。化学熱傷は医師が治療する必要がある。洗った後も刺激が続く場合には医師の手当てを受けること。
眼接触	直ちに医師の手当てを受けること。少なくとも15分間洗い続けた後に医師の手当てを受けること。コンタクトレンズがあれば取り外し瞼を大きく広げること。
応急措置をする者の保護	応急処置を行う者は救助活動中は常に適切な保護具を着用しなければならない。マウスツーマウス式人工呼吸を行うことは応急処置を行う者にとって危険な場合がある。

### 4.2. 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報	記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。
吸入	吸入すると有毒である。
経口摂取	この製品は腐食性である。飲み込むと有害。口、食道および胃の化学熱傷を引き起こすおそれがある。重篤な内部損傷を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	皮膚に接触すると有毒である。皮膚および眼に対して腐食性。火傷を引き起こす。アレルギー性発疹。
眼接触	この製品は腐食性である。高濃度の化学物質に接触すると非常に急速に重篤な眼の損傷を引き起こし、ことによると失明するおそれがある。

## 項目5：火災時の措置

### 5.1. 消火剤

適切な消火剤	消火するために耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素又は粉末消火剤を使用すること。水スプレー、水霧またはミスト。
使ってはならない消火剤	火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

### 5.2. 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼副産物	熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：有害なガスまたは蒸気。
---------	--

### 5.3. 消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置	火災の場合：火災に近い容器は移動するか水で冷却しなければならない。水を使用して火災にさらされた容器を冷却すると共に蒸気を分散させること。
消火を行う者を保護するための特別な保護具	陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。

## 項目6：漏出時の措置

### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項	不要な人員および保護されていない人員を抽出物から遠ざけること。蒸気の吸入および皮膚ならびに眼との接触を避けること。皮膚および眼との接触を避ける。必要に応じて、手袋、ゴーグル/保護面、呼吸マスク、長靴、保護衣またはエプロンを含む、適切な保護具を着用すること。この安全データシートのセクション8に記載の防護衣を着用すること。
------------	--

### 6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。放出を防止するため、容器は損傷を受けた側を上にして置くこと。流出物または流去水が排水管、下水道または水路に入るのを防止すること。排水管または水路あるいは地表への放出を防止すること。環境汚染 (下水道、水路、土壌または大気) が発生した場合には関係官庁に報告すること。
------------	--

### 6.3. 封じ込め及び浄化の方法及び機材

## INSULCURE 11B PT B

### 浄化方法

安全に対処できるならば漏洩を止めること。容器を流出区域から移すこと。適切に換気すること。小規模流出：吸収性の布で拭き取り廃棄物を安全に廃棄すること。大規模流出：不燃性、吸収性の材料に流出物を吸収させること。砂、土またはその他の適切な不燃材料で流出を封じ込めること。回収し適切な廃棄物用容器に入れて確実に密封すること。汚染された区域を多量の水で洗い流すこと。

### 6.4. 他の項目の参照

#### 他の項目の参照

個人保護具については、セクション8を参照。廃棄物の廃棄処理については、セクション13を参照のこと。

### 項目7：取扱い及び保管上の注意

#### 7.1. 安全な取扱いのための予防措置

##### 使用上の予防措置

職業的専門家に限る。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。必要に応じて、手袋、ゴーグル/保護面、呼吸マスク、長靴、保護衣またはエプロンを含む、適切な保護具を着用すること。蒸気/スプレーを吸入しないこと。皮膚および眼との接触を避ける。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。取扱い後は手をよく洗うこと。この製品を扱うときには洗眼設備および緊急用シャワーが利用可能でなければならない。

##### 職業衛生全般に関する助言

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。皮膚が汚染された場合は直ちに洗うこと。汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。使用后および食事、喫煙ならびにトイレの使用前に洗うこと。

#### 7.2. 混触禁止物質を含む、安全な保管条件

##### 保管上の予防措置

密閉した、元の容器に入れて乾燥した、涼しくて換気の良い場所に保管すること。施設して保管すること。混触危険物質(セクション10を参照)から遠ざけて保管すること。

##### 保管クラス

毒物の保管。腐食性物質の保管。

#### 7.3. 特定最終用途

##### 特定最終用途

この製品の意図された使用はセクション1で詳しく述べられている。

##### 使用説明書

適切に換気すること。

### 項目8：ばく露防止及び保護措置

#### 8.2. ばく露防止

##### 適切な設備対策

適切な吸収缶を装備した保護マスクを使用する場合を除き、この製品を換気の悪い状態下で使用してはならない。適切な全体換気装置および局所排気装置を設けること。機械換気装置または局所排気装置が必要になる場合もある。蒸気の吸入を避けること。

##### 人体の保護

ガス/フューム/を吸入してはならない。

##### 眼 / 顔面の保護

リスク評価により眼に接触する可能性が指摘された場合には適切な規格に適合した保護眼鏡を着用しなければならない。顔面に密着する、化学物質飛沫ゴーグルまたは保護面を着用すること。眼および顔面を適切に保護する個人用保護具を着用しなければならない。

##### 手の保護

手袋の材料の破過時間に関する情報を提供することができる手袋供給業者/製造業者と協議して、最も適切な手袋を選択しなければならない。手を化学物質から保護するために、化学物質に対する不浸透性および分解耐性が証明されている手袋を着用しなければならない。選択される手袋は少なくとも8時間の破過時間を有していなければならない。手袋の製造業者が明記したデータを考慮し、使用中に手袋が保護性を維持しているかを確認して何らかの劣化が認められた場合には直ちに交換すること。

##### その他の皮膚及び身体の保護

液体との接触および反復したまたは長期にわたる蒸気との接触のあらゆる可能性を予防するのに適した衣類を着用すること。

##### 衛生措置

服を脱ぐ前に、直ちに汚染された衣類及び皮膚を多量の水で洗うこと。直ちに濡れたり汚染されたりした全ての衣類を脱ぐこと。

## INSULCURE 11B PT B

## 呼吸器の保護

全ての呼吸用保護具が意図した使用に適していることを確認すること。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したフルフェイス式呼吸用保護具を使用しなければならない。意図した使用に適した交換可能な吸収缶を装備したハーフマスク式およびクォータマスク式の呼吸用保護具を使用しなければならない。

## 項目9：物理的及び化学的性質

## 9.1. 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体。
色	琥珀色。
臭い	アミン臭。
引火点	> 93.3°C
相対密度	0.95

## 項目10：安定性及び反応性

反応性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。
危険有害性反応危険性	重合しない。
避けるべき条件	熱、火花および裸火から遠ざけること。次の物質との接触を避けること：強酸化剤。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	危険有害性分解生成物は知られていない。

## 項目11：有害性情報

## 11.1. 有害性情報

## 急性毒性 - 経口

急性経口毒性推定値  
(ATE) (mg/kg) 5,618.0

## 急性毒性 - 経皮

急性経皮毒性推定値  
(ATE) (mg/kg) 34,924.0

## 急性毒性 - 吸入

急性吸入毒性推定値  
(ATE) (気体ppmV) 82,353.0

急性吸入毒性推定値  
(ATE) (蒸気mg/l) 353.0

急性吸入毒性推定値  
(ATE) (粉じん/ミスト  
mg/l) 59.0

吸入 吸入すると有毒。

経口摂取 飲み込むと有害。口、食道および胃の化学熱傷を引き起こすおそれがある。

皮膚接触 皮膚に接触すると有毒である。重度の火傷を引き起こす。

## INSULCURE 11B PT B

眼接触 重篤な眼の損傷。

## 項目12：環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

毒性 水生生物に対して有毒であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。

## 12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性 データなし。

## 12.3. 生体蓄積性

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

## 12.4. 土壌中の移動性

移動性 記録されているデータ無し。

## 12.6. 他の有害影響

他の有害影響 知られていない。

## 項目13：廃棄上の注意

## 13.1. 廃棄上の注意

一般情報 認可された廃棄物処理請負業者を介して廃棄物を廃棄すること。現地の規制に従って廃産物または使用済み容器を廃棄すること。この材料またその容器は、危険物質として廃棄される必要があります。

廃棄方法 この物質および容器は有害廃棄物もしくは特別な廃棄物の収集場所に廃棄すること。認可された廃棄物処理請負業者を介して廃棄物を廃棄すること。現地の規制に従って廃産物または使用済み容器を廃棄すること。

廃棄物クラス 08 04 99

## 項目14：輸送上の注意

## 14.1. 国連番号

国連番号 ( 道路輸送/鉄道輸送 ) 2922

国連番号 ( IMDG ) 2922

国連番号 ( ICAO ) 2922

## 14.2. 品名 ( 国連輸送名 )

品名 ( 国連輸送名 ) ( 道路輸送/鉄道輸送 ) CORROSIVE LIQUID, TOXIC, N.O.S. (Cycloaliphatic amines)

品名 ( 国連輸送名 ) ( IMDG ) CORROSIVE LIQUID, TOXIC, N.O.S. (Cycloaliphatic amines)

品名 ( 国連輸送名 ) ( ICAO ) CORROSIVE LIQUID, TOXIC, N.O.S. (Cycloaliphatic amines)

## 14.3. 国連分類 ( 輸送における危険有害性クラス )

道路輸送/鉄道輸送クラス 8

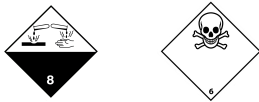
道路輸送/鉄道輸送副次危険性 6.1

道路輸送/鉄道輸送分類コード CT1

## INSULCURE 11B PT B

道路輸送/鉄道輸送ラベル	8
IMDGクラス	8
IMDG副次危険性	6.1
ICAOクラス / 区分	8
ICAO副次危険性	6.1

## 輸送ラベル



## 14.4. 容器等級

道路輸送/鉄道輸送容器等級	II
IMDG容器等級	II
ICAO容器等級	II

## 14.5. 海洋汚染物質

## 環境有害物質 / 海洋汚染物質



## 14.6. 使用者のための特別予防措置

非常措置指針 ( EmS ) F-A, S-B

危険物識別番号 ( 道路輸送/鉄道輸送 ) 86

## 項目15: 適用法令

## 項目16: その他の情報

改訂日付	2018/04/04
改訂版	3
破棄日付	2016/04/29
SDS番号	20691
危険有害性情報の全文	H302 飲み込むと有害。 H311 皮膚に接触すると有毒。 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。 H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H318 重篤な眼の損傷。 H331 吸入すると有毒。 H351 発がんのおそれの疑い。 H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明を行うものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。